

平成30年 8 月 2 4 日

陳情第1 4 2号

2019年度における「重度障害者医療費助成制度」継続についての陳情

2019年度における「重度障害者医療費助成制度」継続についての陳情

【陳情趣旨】

神奈川県は2008年（平成20年）に、重度障害者医療費助成制度を変更して、障害重複者を除く障害者に3条件、①窓口負担（通院1回200円／入院1日100円）、②年齢制限（申請日の時点で65歳以上は適用除外）、③所得制限（年間360万円以上は適用除外）を逐次附帯しました。

結果として、私たち透析患者は神奈川県が窓口負担や制限を導入する中でも、市町村の同種制度に頼り安心して医療を受けて参りました。しかし、この10年間で年齢制限、所得制限を導入する市町村が増え、患者間での不平等差が生じています。

透析導入平均年齢は69.4歳と言われており、特に年齢制限の導入は透析を受ける上で、大変な経済的、医療的な不安となります。透析患者は突然に障害者となるのではなく、腎臓病と闘いながらも仕事や家庭と精一杯生活し、その後、透析導入に至り障害者となります。そのため、私たち透析患者は、少ない年金収入に頼って生活する者が多く、重度障害者医療費助成制度は安心して医療を受ける上で大変必要な制度なのです。

NPO法人神奈川県腎友会では、神奈川県に対して助成制度の再構築を市町村と折衝、検討、審議を重ねて頂くよう要望しております。

神奈川県が補助金削減、廃止するなど、小田原市に於かれましても財政逼迫も理解しておりますが、敢えて、私たち障害児者・透析患者が負担なく医療が受けられるよう、2019年度の予算策定をお願い申し上げます。

【陳情項目】

小田原市2019年度予算策定に際し、重度障害者医療費助成制度継続について、障害児者・透析患者が負担なく医療が受けられるよう陳情申し上げます。

平成30年8月24日

小田原市議会議員

加藤 仁司 様

提出者

小田原市南鴨宮3-10-11

小田原西湘腎友会

会長 岡林 俊雄 ㊟

横浜市神奈川区台町1-8

ウェイサイドビル504号

特定非営利活動法人

神奈川県腎友会

会長 前田 好夫 ㊟